

## 令和2年度事業計画

令和2年度の政府の経済見通しによると、実質GDP成長率0.9%、消費者物価（総合）0.6%程度の上昇を見込んでいた。しかし新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、経済成長は日本だけでなく、世界規模で大きく停滞することが予想される。

遊技業界は、社会から求められているギャンブル等依存症対策について、昨年4月に閣議決定されたギャンブル等依存症対策基本計画に基づき、パチンコ・パチスロ21世紀会を中心に、各項目について取組を行っている。また令和3年1月末までの旧規則遊技機の完全撤去に向けた新規則遊技機の開発や設置、及び旧規則遊技機の適正な撤去及び廃棄等遊技機に関する対策について着実に実行している。また働き方改革への対応、4月から始まる受動喫煙対策に基づく遊技場における分煙化への対応など社会が求める施策についても対策を進めているところである。また、新型コロナウイルス感染に対しても広告宣伝の全国的自粛をはじめ、従業員の体調管理、遊技場内での公衆衛生の徹底等の対策を行うなど、環境整備に取り組んでいる。

当協議会は、これまで「業界を取り巻く環境の整備」と「現行風営適正化法の問題点の調査研究」を二本柱として活動してきた。しかし、遊技業界が長らく低迷し深刻な曲がり角に立たされていることもあり、会是にある理念の実現に向けて積極的に発信し、風営適正化法では対応できない問題点について、研究を行い、提言を行っていくものとする。さらに、我が国固有の娯楽産業であるパチンコ・パチスロが発展継承をするために、ホール・メーカー等の業種を超えた業界の総意結束を図り、新たなビジネスモデルの研究調査をはじめ、諸課題に挑んでいくこととする。また、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）を積極的に研究し、理解・認識を広げていく。その他、創立以来取り組んでいる健全営業の推進と社会貢献活動に引き続き尽力していく。

## 会是

『業界の環境を整備し業法の制定を図る』

## 今年度の重点目標

『遊技業界の将来展望を拓くために積極的な政策提言活動を行う』

## 具体的な行動目標

1. 業法制定に向けて内外の啓発活動を行う
2. 遊技環境の在り方を研究調査する
3. 地域社会と共生する遊技場の在り方を研究調査する
4. 会是に賛同する会員の増員に努める

## 行動内容

1. 理事会は8月を除く年11回開催する
2. 常務理事会を月1回以上開催し、理事会議案等を作成する
3. 定例部会を8月と12月を除く年10回開催する
4. 11月に秋季セミナーを開催する
5. 特別部会を開催し、現行法運用上の諸問題を研究調査する
6. 多様性のある遊技環境の構築に向けた活動を実施する
7. 次世代経営者層による会合を開催し、業界展望について協議検討する
8. 行政及び関係団体等との情報交換や交流を推進する
9. 風営適正化法令におけるパチンコ営業運用上のQ&A改訂について検討する
10. 「全国パチンコ店舗避難所ガイド」の店舗登録の拡大に努める
11. 新型コロナウイルス感染症対策を再優先課題とし、臨機応変に対応する

以上